

意見交換事前募集テーマ

No.	意見内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会運営にあたっての課題等 まちづくり協議会設立により、地区生涯学習推進会との間に見える溝ができています。 ・今回提出する行動計画等は、努力目標として提出します。 ・地区生涯学習推進会及び前身の団体も行政が音頭取りして設立された団体と認識していますが、28年度以降の地区生涯学習推進会の取扱いを、地域に任せるのではなく行政としての考えを富士市生涯学習推進会会長会に示していただきたい。
2	<p>1、生涯学習推進会関係について (1) 富士市生涯学習推進会とまちづくり協議会の各部との関係 ①加盟問題はどうか(協議会の委員への繰入れを行なう→地区生涯学習は解散となるが。 ②各地区の対応を教えてください。</p> <p>2、女性の会について (1) まちづくり協議会の委員会への配置等、どのように位置づけていくのか。 (2) 各地区の状況を教えてください。</p> <p>3、福祉推進会の各地区での予算について教えてください。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地区連合町内会長(任期1年)が兼務の為、単年度の活動となり、継続的でより深まった活動が難しい。(悩み) ・部員(役員)の担い手探しが難しい。(悩み)
4	まちづくり行動計画の活用方法
5	<p>まちづくり協議会設立により生まれた新たな動きで様変わりしてきました。</p> <p>(1) 分離独立していた各団体事業が全団体横断的に「協力したり協力されたり」で各団体役割の理解が深まり、自然に関わりを持つようになり固いチームワークに発展している。</p> <p>(2) 団体の垣根を超え事業行動の関わりについて、補完団体から関わりのオファーが寄せられる。</p> <p>(3) 何よりも否定的であった、自治会連合会が積極的に機関車役となり各補完団体を纏め上げる大きな変革ができた。(4) 財政的な援助や資金繰りへの協力度合いは180度の変革である。</p> <p>(5) 事業所を巻き込んだサポート体制に認知度が上がり協働事業推進の足がかりができた。</p> <p>(6) 新たな事業を実行部門が企画し市民から喜ばれエールを貰える団体に成長した。</p> <p>(7) 要望事案など数多くの改善要請に応えられ役割に求心力が大きく評価されるようになった。</p> <p>(8) 防災意識の啓蒙により、意識が高まり「備えあれば憂いなし」の理解が進んでいる。</p> <p>(9) 定期広報紙の寄稿記事には市民版を設け市民の目線で自由な投稿により帰属意識を強めつつある。</p> <p>(10) 課題はあるにせよ地域目線の組織運営に自走力がつき始めており、地域のことは地域が守る意識高揚が高まりつつある。</p> <p>(11) 過去のしがらみで物事を引きずってはいけない、イノベーションが必要であることが浸透してきた。</p>